

広報
ごしよがわら

発行 五所川原市
 〒037
 青森県五所川原市字岩木町12
 ☎0173-552111代
 編集 総務部秘書企画課
 印刷 南北斗オフセット

市の人口 総数52,056人 (男25,101・女26,955) 世帯数14,814 (1月31日現在) (毎月2回 1日・15日発行)

第16回五所川原雪まつり

— 家族づれでにぎわう —

毎号とじこんでください。後できっとお役に立ちます。



森田市長 「寒くないかい？」
 子ども達 「寒くないよ！」



ワッショイ、ワッショイ!!
 雪上親子綱引き大会



見つけたッー!
 雪上カルタ大会

五所川原雪まつりが二月九、十一日の二日間の日程で市役所前お祭り広場を主会場に開かれ、家族づれなど約三千人でにぎわいました。

これは、五所川原市観光協会(三上理会長)が主催し、市が後援で開催しているものです。初日は、午前十一時からの開会式後、雪上親子綱引き大会、雪上カルタ大会、ズグリ回し大会、たこ上げ大会が行われました。

今年には綱引きに九組、雪上カルタに二十三組、ズグリ回しに十八組、そしてたこ上げに五十四人が参加。参加者は、時折吹雪もようとなる天候にもめげず奮闘。見守る観衆から盛んな声援を受けていました。

また、お祭り広場には氷の彫刻が六点、かまくらや雪灯ろうが六基、雪のすべり台一基、市内各地に雪像五基が作られ人気を集めて

いました。

十一日には、市民文化会館で歌謡・津軽民謡・津軽民謡手踊コンクールが行われ、西北五から約百人が出場、満員の観客を楽せました。



子ども達の人気を集めた「かまくら」

市民憲章 (昭和59年10月1日制定)

昭和61年

No.610

3-1

わたくしたちの先人は、不撓不屈の五所川原魂をもってあらゆる困難を克服し新田を切り開き、今日の活気に満ちた五所川原市を築き上げました。

わたくしたちは、この伝統を継承し、広い視野に立って西北津軽の人々と協調し、郷土の限らない発展を願って、ここに市民憲章を定めます。

- ◎心身ともに健康で、明るい家庭をつくります。
- ◎自然を大切にし、力を合わせて花と緑の美しいまちをつくります。
- ◎平和を愛し、きまりを守り、住みよいまちをつくります。
- ◎文化を尊び、生涯学習をもとに心豊かな人をつくります。
- ◎未来に夢を持ち、創意と実践により栄えゆく郷土をつくります。

あなたもできるボランティア

—基本は助け合いの精神—

最近、「ボランティア」という言葉がよく使われるようになりましたが、まだボランティア活動というと、何か特別なこと、難しいこと、というイメージがついてまわるようです。しかし、ボランティアとは本来、人間ならばだれもが持っている助け合いの精神があればできることで、決して特別なことでも難しいことでもありません。地域社会のつながりの中に、温かい人間同士の触れ合いを求めて平等の人間関係の中で、自発的に他人の身になって社会活動をし、そのことが自分自身の成長につながる—これがボランティアの心なのです。

ボランティア 後進国 日本

日本は「ボランティア後進国」とよくいわれます。「現在ボランティア活動をしている人は九割」という調査結果(総理府昭和五十八年)は、諸外国と比較するまでもなく寂しい数字です。しかし、日本人が昔から奉仕の精神が希薄だったのではありません。

昔はあった 助け合いの文化

田植えや収穫の時期になると、地域ぐるみで共同作業をするように、本来、日

本人は農耕民族としての、

「助け合いの文化」を持っていました。それが、工業化や核家族化が進み、個人の豊かさを追求するようになるにしたがって、他人とのかかわり合いが減り、助け合いの精神がだんだんと薄らいでしまったのです。国民生活が豊かになり、余暇時間が比較的とれるようになった今、自分自身のためだけではなく、だれかのために何かをしてあげてはいかがでしょうか。

現在、ボランティア活動をしている人達は、そのほとんどが活動してよかつたと答え、その理由として次のようなことを挙げています。

○思いやりの気持ちが深まった

○友人を得ることができた

○世間への見方が広まった
○周囲の人との共通の話題ができた

○人間性が豊かになった
○このように、他人の身になって自発的に社会活動をするのが、ひいては自分自身の成長にもつながるものです。

ボランティア 活動の動機

現在、ボランティア活動をしている人達は、いったいどのような動機で始めたのでしょうか。前出の総理府調査(複数回答)では、社会のために何か役立ちたから(三四割)、人か

つ)、立場上やむをえず(二二割)、福祉問題が身近に起きているから(二三割)、自分の技術、能力、経験を生かしたかったから(二三割)というような答えが多く見られました。

五所川原点訳朗読奉仕会



横浜礼子会長

五所川原点訳朗読奉仕会(横浜礼子代表 会員四〇人)は、〇しや会社員などの働く主婦が中心となって作っているボランティアグループです。毎月一回行われる市中央公民館での例会では、ビデオテープを利用したり、資料を使って点訳の新しい基準や朗読方法を勉強するなど研修に励んでいます。

同会では、県立点字図書の合同をぬって各自がコツコツと点訳と朗読に励んでいるほか、五十七年からは月二回発行されている「市広報」を校正刷りの段階でテープに録音。「声の広報」として一般家庭への配布とほぼ同時に配り、市内の目の不自由な人達からは、地域とのつながりが持っていると大変好評です。また同会では、目の不自由な人達とのスキンシップにも力を入れ、中途失明者の点字訓練には会員持ち回りで指導してきましたが、これによってマッサージ学校を卒業、開業できるまでになった人もいます。さらに、昨年四月から会員の情報交換の場としてミニ新聞「アイアイ」を発行、一般市民の点訳活動理解にも役立たせています。横浜さんは、「活動を続けているうちに利用者がりがいがある。会員は、ほとんどが仕事をもっており、忙しい人が多いので、自分達のできる範囲で地道に活動していきたい」と話していました。



ボランティア Volunteer

「自ら進んである任務につくことを申し出る人。有志」という意味です。

人間同士の ふれあい・交流

このように、動機にもいろいろありますが、一度ボランティア活動を始めたならば、常に相手の立場に立って、お仕着せのお手伝いにならないよう努めなければなりません。

ボランティアの根底にあるものは、人間同士の温かいふれあいや交流です。実際に行動してみれば、ボランティア活動はわたしたちに決してお金では買えない、精神的な充足感を味わわせてくれるのではないのでしょうか。

基本は「困っている人のお手伝い」

いくら頭で考えていても、ボランティア行動に移さなければなんの意味もありません。しかし、ボランティア活動はしてみたいが、どうやって始めたいのかわからない、といった話もよく聞きます。

ボランティアの基本は、「困っている人のお手伝い

をしたい」という気持ちです。すから、身近にボランティアを必要としている人がいれば、わたしたちは一人でも行動を起こすことができます。また、身近にボランティア活動をしているグループがあれば、それに参加するのもよい方法でしょう。ボランティア活動をわたしたちの生活と行動の中に溶け込ませる。そのためには、まず、わたしたち一人ひとりがボランティアを他人事とせず、自分自身の

五所川原手話サークルひまわり

五所川原手話サークルひまわり(服部聡子代表 会員二人)は、保母や寮母、公務員などの女性を中心となって作って

いるボランティアグループです。同サークルは、耳の不自由な人を支援しようと六年程前に発足。毎週一回、市中



手話通訳の研修に励む「ひまわり」のみなさん。右端が服部聡子会長

中央公民館で手話通訳の研修に励んでいると共に、ろうあ者協会が毎年六月から十一月にかけて中央公民館で開いている手話講習会と、月一回開

問題としてとらえることが必要なのではないでしょうか。

市内の ボランティア

西北五地区交流会では、手話通訳で積極的な奉仕活動をしています。また、同サークルでは

耳の不自由な人達が医師の診察を受ける場合など、日常的な手話通訳の奉仕活動も行っており感謝されています。服部さんは、「公的な機関に手話通訳者がいないことや、いつでも集まることが出来る場所がないのが悩みです。また、会員も女性が多いため、結婚すると参加しにくくなる。男性の人にもっと加わっていただければ。そして、耳の不自由な人が手話通訳者が必要としている時に、いつでも応じられるようにしていきたい」と語っていました。



ボランティア活動についてのお問い合わせは、
市社会福祉協議会 (☎343 494番 市内岩木町 老人福祉センター内) へどうぞ。

現在、市内には数多くのボランティアグループ、個人があり、熱心に活動を続けています。その中から、「五所川原点訳朗読奉仕会」、「五所川原手話サークルひまわり」の二グループを紹介し

あなたもボランティアの仲間になりませんか！

五所川原地区BBS会では、会員を募集しています。

BBS会は、非行問題と献身的に取り組んでいる青年ボランティアグループです。

お申し込み先 市青少年対策室 (☎352111番 内線355番) へどうぞ。

スポーツ賞贈る

市スポーツ賞 竹林さんに功労賞



市文化奨励賞、スポーツ賞表彰式

昭和六十一年度の市文化奨励賞・スポーツ賞の表彰式を二月二十二日、中央公民館で行いました。市文化奨励賞は文化活動に、市スポーツ賞はスポーツ活動やスポーツの振興に、それぞれ優れた成績をおさめられた個人や団体に対して市が贈るもので、表彰式には関係者約二百三十人が出席。

本年度の文化奨励賞は、音楽振興に寄与した五所川原高音楽部が五十一年度から連続十回受賞したほか、個人三十人、五団体、五回受賞が一団体。

一方、スポーツ賞は、スポーツの振興に功績のあった竹林順逸さんに功労賞が、また、全日本卓球選手権大会ホープスミニの男子シングルス優勝の神健介さんや齋藤五月さんなど個人四十五人、十六団体、五回受賞二人にそれぞれ贈られました。表彰式では個人一人ひとりと団体に、賞状と記念品を贈った後、高橋民一教育委員長が「今回の受賞を契機に、さらに精進を重ね、市の芸術、文化、スポーツの高揚にますます活躍されるよう期待します」とあいさつ。

その後、市長代理の前田義則市監査委員と市議長代理の石岡裕副議長が、それぞれお祝いの言葉を述べました。最後に、受賞者を代表し南小の齋藤五月さんが「素敵な賞を本当にありがとうございました。これからも一生懸命頑張ります」とお礼の言葉を述べ式を終りました。受賞者は次のとおりです。(敬称略)

文化奨励賞

★個人

- ◇書道 長尾千穂子(野里小6)、横嶋美香(二中1)、中川潤一、片岡敏幸(同中2)、片岡和人、中川美雪(同中3)、横嶋美由起(五高2)、中川伸吾(五農2)、片岡節子(二中1)、片岡範仁(同中3)、工藤真理子(松野木小6)、佐々木八重子(同小5)、寺田康行(中央小6)、佐々木敏(幾世森)、斎藤隆蔵(旭町)
- ◇俳句 原田友美(南小5)、瀬川瑞之、佐々木千春(同小6)、三上清蔵(五所川原俳句会)

社会福祉にと10万円寄付

七ツ館の工藤さん



森田市長に手渡される工藤さん(左)

市内七ツ館の工藤文男さんは二月三日、市役所を訪れ社会福祉のために役立ててくださると十万円を寄付、森田市長に手渡されました。

これは、去る一月八日に亡くなった母ユミさんへ供えられた香典の一部を贈ったもので、市では市社会福祉協議会の福祉基金に預託しました。

行政相談員委嘱される

一人欠員中の行政相談委員が二月一日付で総務庁から委嘱されました。

行政相談委員は、住民の行政に対する苦情等の相談に応じ、その解決を手助けするもので、相談は無料で口頭、電話、手紙いずれの方法でもかまいません。相

談を受けた行政相談委員は、秘密を守り親身にお世話することになっています。

行政相談委員に委嘱されたのは、次のとおりです。

氏名 川村昌子(旧姓小嶋)
住所 敷島町一四
電話 34二五一九番

土地区画整理審議会委員決まる

さきに「広報ごしよがわら」一月十五日号でお知らせした駅東部地区土地区画整理審議会委員選挙は、届出のあった候補者の数が、選挙すべき委員の数(八人)を超えないので、投票は行いませんでした。

土地の所有者から選ばれた審議会委員は次のとおりです。(敬称略)

寺田孫一郎(石岡)、三上晴男・福士勲・小野勝章(以上一ツ谷)、野呂邦雄・野呂竹藤(以上鎌谷町)

市文化奨励賞

市文化奨励賞 五所高音楽部が連続10回受賞

- ◇作文 富士和子(梅泉小4)、山田安希子(南小1)、工藤拓郎(七ツ館小2)
 - ◇詩吟 崎野清蔵(津軽アスナロ短歌会)
 - ◇標語 藤丸ツエ(八重菊)
 - ◇版画 神孝彦、古川隆司(田川小1)
 - ◇図画 外崎冬子(田川小6)
 - ◇写真 成田信己(五高2)
 - ◇エレクトーン 福士華織(中央小6)
 - ◇囲碁 佐々木宏文(日本棋院五所川原支部)
 - ★団体
 - ◇囲碁 日本棋院五所川原支部
 - ◇書道 五所川原第二中
 - ◇合唱 五所川原高音楽部、五所川原合唱団、五所川原マモコラス
 - ◇五回受賞 日本棋院五所川原支部
 - ◇十回受賞 五所川原高音楽部
- (一中1)、阿部珠美(二中3)、佐藤寛保(陸上競技協会 五一高教員)、安田信昭(陸上競技協会 木造高教員)、小野誘子(五高2)
- ◇バレイボール 川浪泰浩(五工高3)
 - ◇卓球 斎藤五月(南小2)、神健介、古川史子、工藤さくら、田中幸佐(同小3)、斎藤佳史(一中2)、堀内美和(三中2)、境谷恭子(東奥女高1)、工藤慶人(三本木高2)
 - ◇庭球 中川幸子、小野靖子(一中3)
 - ◇銃剣道 土岐航也(銃剣道協会 栄小3)、工藤常四郎(銃剣道協会)
 - ◇柔道 佐々木貴美(南小3)、小野鉄広(五商高2)、佐藤順一(柔道会)、成田光(八戸工専2)
 - ◇相撲 葛西三三彦(五農高教員)、葛西孝彦(五商高教員)、江良慈彦(四中1)、伊東勝人(近大4)、高橋永樹(日大2)
 - ◇ウエトリフティング 長峰新吾(五工高3)、館山隆寿、中村秀治(同高2)
 - ◇少林寺拳法 中村孝博、小林裕一郎(五工高2)、高橋典子(五一高2)
 - ◇レスリング 古川修、小

- 坂明(光星高3)、石岡宏康(同校1)
- ◇ボクシング 川口真史(青商高3)
- ◇バスケットボール 乗田仁志(五工高教員)
- ◇五回受賞 小田桐二郎(陸上競技)、工藤慶人(卓球)
- ★団体
 - ◇卓球 南小学校、市青年団協議会、五一中女子卓球部、五一中男子卓球部、五三中女子卓球部
 - ◇野球 五一中野球部
 - ◇ウエトリフティング 五工高ウエトリフティング部
 - ◇庭球 五一中庭球部
 - ◇バレイボール 市青年団協議会
 - ◇バスケットボール 市青年団協議会
 - ◇相撲 五農高相撲部
 - ◇柔道 五農高柔道部、五所川原柔道会
 - ◇ソフトボール 五商高ソフトボール部
 - ◇少林寺拳法 五工高少林寺拳法部、五一高少林寺拳法部

「文化資源の掘り起こしを」 公開講演会を開く



松下 圭一先生

— 青年会議所 —

による実践的なまじづくりを推進している法政大学教授の松下圭一先生を講師に、「みつめよう五所川原 今私たちのまちは…」をテーマに開催。

松下先生は「五所川原市が今後発展するキーワードは、文化戦略があるかです。文化の掘り起こしをやってください。埋もれた文化資源があるはずですよ。ぜひ取り組んでください。必ずや展望は開かれます。天は自ら助くものを助くです」と語っていました。

五所川原青年会議所(山口孝夫理事長)では二月十七日、中央公民館で「明るい豊かなまちづくり」を考える公開講演会を開き、約二百人が出席しました。

同講演会は、全国各地で「生活環境指標調査」

児童手当および児童扶養手当 受給の皆さんへ

現在、児童手当および児童扶養手当に支給期にもならない場合が児童手当を受給されている人があります。ご注意ください。これは、昨年の所得を忘れないで、三月十五日までに申告してください。

問合せは、市福祉事務所児童係(☎35)二一一番 内線 二四三番)へどうぞ。

政府調査団などが豪雪状況を視察

豪雪状況を視察のため、2月8日に自民党の井上孝災害対策特別委員長、同月10日には国土庁の白川勝彦政務次官を団長とする政府調査団一行9人がそれぞれ来県し、本市のリンゴ園や松島団地の除排雪のめようなどを視察しました。

白川国土政務次官が視察

白川国土政務次官を団長とする政府調査団の一行は二月十日、青森市内を視察後本市を訪れ、まず原子地区のリンゴ園を視察。白川政務次官は、「二日近い雪に埋もれたリンゴの木を自ら手で持ち上げながら、「すごい積雪だな」と驚いた様子で、森田市長や川島康平北地方農林事務所長のリンゴ樹の枝折れなどの状

況説明に聞き入っていました。その後、松島団地の除排雪状況を視察し市役所に着。森田市長は、白川政務次官に「除排雪経費に対する特別交付税の増額配分や被害救済」についての陳情書を手渡すとともに、写真を見せて豪雪のめようを更に印象づけていました。白川政務次官は視察を終

えて、「豪雪による住民の苦労は大変なものと思う。財政面の負担にとられることなく、除排雪に専念できるような仕組みが必要だ」と語っていました。なお、この政府調査団の一行には竹内察一代議士も同行、視察しました。



リンゴ園を視察する白川国土政務次官(右端)。枝折れの状況などを説明する森田市長(右から3人目)



白川国土政務次官(中央)に陳情する森田市長(右)

自民党災害対策特別委員長が来市

自民党の井上孝災害対策特別委員長が二月八日、本市を訪れました。井上委員長

は、まず原子地区のリンゴ園を視察。森田市長や川島康平北地方農林事務所長などの説明を聞きながら「こんなに積雪が多いとは思わなかった」と感想を述べ、二日近い雪に埋まったリンゴの木に驚きの表情を見せていました。この後、松島団地や石岡団地を見て回り、一階の屋根まで届く雪に改めて驚いた様子でした。なお、井上委員長は本市の視察に先立ち、県庁で北村知事や森田市長などから「除排雪経費に対する特別交付税の増額配分や被害救済」についての陳情を受け「十分な措置がとれるよう政府に伝える」と語っていました。



松島団地の状況を視察する井上災害対策特別委員長(右)と説明する森田市長



新一年生が「一日入学」

楽しいひと時を過ごす

今年の春、小学校に入学する「新一年生」達(約六五〇人)を対象とした「一日入学」が各小学校で行われています。

「一日入学」は、入学前に児童の学校に対する不安を解消し、学校の楽しさを味わわせ、希望を胸に喜んで学校に来てもらうために



「一日入学」で自分の似顔絵を書く子ども達
(2月17日—毘沙門小学校)

毎年行っているものです。

このうち、毘沙門小学校(工藤安則校長 児童数八十七人)では二月十七日、新一年生十三人を対象に一日入学を行いました。

工藤校長が「四月にはみんな元気で、またこの学校へ来てください」とあいさつすると、子ども達は元気に「ハイ」。

始めての入学体験に緊張気味の新一年生達も、お兄さんやお姉さん達の紙芝居、自分の似顔絵書き、先生のお話などで楽しいひと時を過ごし、四月からの学校生活に夢をふくらませていました。

クイズでこうつうあんせんのきまりをおぼえよう

4がつから

しょうがくせい

クイズ1

ほこうしゃやうの あおしんごうが ついたり きえたりしていたとき、いそいでわたろうとしている
(よい、わるい)



クイズ1

どうろを あるくとき、ともだちと ふざけっこをしたり ひろがってあるいている
(よい、わるい)



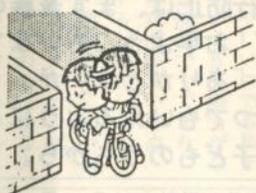
クイズ5

かくれんぼでトラックの したにある ダンボールに かくれている
(よい、わるい)



クイズ4

じてんしゃで せまいみちからひろいみちにてるとき、いそいでいたけれど いったんとまって みぎ、ひだりのあんぜんをよく たしかめて ふといみちに しようとしている
(よい、わるい)



クイズ2

どうろが こんでいるし、じどうしゃが いっぱいとまっているので、じどうしゃのあいだを とおって ちかみちをして どうろを わたっている
(よい、わるい)



クイズ3

おかあさんは、ちかくに おうだんほどうきょうが あるのに、そこをわたらず くるまが たくさんはしっている どうろを わたろうとした ぼくは「おうだんほどうきょうを わたろうよ」といった
(よい、わるい)



いよいよ 4がつから、しょうがくせい。がっこうまでの つうがくろは もうおぼえたかい。きっと いままで あまりあるいたことのない みちを かようこが おおいんじゃないのかな。そこで、きみたちに こうつうあんせんの クイズをだそう。 おかあさんによんでもらい よくかんがえて こうつうあんせんの きまりを しっかり おぼえようね。

こたえは、よい わるいでこたえてね。そして、なぜ、わるいのか どうすれば よいのかを かんがえてみよう。

(クイズの答えは 10ページに掲載)

揺れる心を 受け止めてあげよう

家出少年発見保護活動強化月間

進級、卒業、友達との別れ。少年たちにとって、早春の三月は、希望の季節の到来でもあります。その心は期待と不安に揺れ動いています。

毎年この時期になると少年・少女の家出が多くなり、そしてそれが非行へとつながるケースが増えているのです。

(データ)

昭和六十年三月から四月までの一か月間に実施した春の「家出少年発見保護活動強化月間」中に警察が発見・保護した家出少年は約五千五百人。そのうち三割が中学生です。

動機で一番多いのは、「遊びぐせ」からの家出で、次いで親子間・家庭内のトラブルなどによる「家庭問題」「異性問題の悩み」の順です。

家出は 非行への入口

しかられたり、おもしろ

くないからと家出する少年たち。とりわけ最近の中学生に増えているのが、友達と二人で家出するケースです。

環境が似ていたり、相手に同情したりといったことからなのでしょう。

「一人なら怖くないから」というと、そんなことはありません。家出は、何人いても危険がいっぱいなのです。

家を出たものの、たちまちお金がなくなりおなかがすいて、「かつぱらい」。

家出中に暴力団に狙われて光春をしていた中学校の女生徒もいるなど、犯罪の被害者になることも珍しくありません。「少年の家出は非行への入口」といってもいい過ぎではないでしょう。

家庭での心配り で家出を防ごう

少年たちを家出に駆り立てる背景には、本人の心の

問題をはじめ、いろいろな要因があげられるでしょうが、やはり家庭環境が大きなきー・ポイントといえます。

少年たちの未来を暗く閉ざさないために、ぜひ家庭で次のような心くばりをお忘れなく。

●子供の悩みごとや心配ごとについて、いつでも気楽に話しあえる親子関係を。

●現実から逃げるのではなく、耐えてがんばる勇気が大切なことを教える。

●ふだんから子供の持ち物や言葉遣い、態度などに注意をはらう。

●子供の外出先を常に確かめ、帰宅時間を守るようにする。子供の友人関係をよく知っておくことも大切で、親同士でときどき連絡をとりあう。

●子供が進学や就職試験に失敗しても、思いやりのある態度で接し、挫折に陥らないように配慮を。



患者さんの作品を展示

西北中央病院精神科

市立西北中央病院精神科では、次の日程で精神科作業療法の作品展を開催します。

多数のご来場をお待ちしています。

- 日時 3月14日 午前10時～午後7時
15日 午前10時～午後3時
- 場所 働く婦人の家
- 展示品 陶器・松カサ細工・手芸・書道
卵モザイク ほか

非行防止は、まず家族のあいさつから「お早ようございます」「ありがとう」が、いつでもいえるように子どものうちから、しつけましょう

BBS運動とはBig Brothers and Sisters Movement の略で非行や犯罪を犯してしまった少年の立ち直りを助け、明るい社会をめざして非行問題と献身的に取り組んでいる青年ボランティアの奉仕活動です。

■お問い合わせは 市青少年対策室
(☎35)2111番 内線355番) へどうぞ
五所川原地区 BBS会

たばこは、市内から 買いましょう

マイルドセブン1箱(200円)につき、35円60銭がたばこ消費税として市の収入になります。

休日・夜間

の急病は

在宅医師の紹介は
消防署へ

☎(35)20-19番
(救急医療部会)

保険者証の更新のお知らせ

皆さんが現在持っておられる国民健康保険被保険者証及び国民健康保険退職保険者証は、3月31日で有効期限がすぎます。日程表に基づいて更新しますので、必ず更新されるようお願いいたします。

更新された新しい被保険者証を病院にお出しにならないと、医療費の全額を支払うこととなりますのでご注意ください。更新の際は、現在使用している被保険者証は必ず持参して下さるようお願いいたします。

詳しくは、市保険年金課(☎352111番 内線263番)へどうぞ。

◆地区別更新場所及び日程◆

地区	月日	曜	更新場所	時間	対象地区
飯詰	3.24	月	飯詰支所	9:00~12:00	飯詰地区
梅沢	3.24	月	梅沢支所	9.00~12.00	梅沢地区
七和	3.24	月	七和支所	13.00~16.00	七和地区
長橋	3.24	月	長橋支所	13.00~16.00	長橋地区
毘沙門	3.25	火	毘沙門支所	9.00~12.00	毘沙門地区
松島	3.25	火	市役所 2階ロビー	9.00~12.00	松島地区
三好	3.25	火	三好支所	13.00~16.00	三好地区
栄	3.25	火	市役所 2階ロビー	13.00~16.00	栄地区 (みどり町含む)
本庁	3.26	水	市役所 2階ロビー	9.00~15.00	栄町・田町・蓮沼 元町・不與住・鎌 谷・八重・下ツ 枝・新町・柳町 岩木町・川端町
本庁	3.27	木	市役所 2階ロビー	9.00~15.00	本町・布屋町・弥 生町・東町・大 旭町・敷島町・難 田・上平井町・中 平井町・下平井町 幾世森
本庁	3.28	金	市役所 2階ロビー	9.00~15.00	寺町・柏原町・錦 町・幾島町・末広 町・新宮町・芭蕉 小曲・松島町・新 宮・長橋橋元・湊 団地・若葉
中川	3.29	土	〃	9.00~12.00	中川地区
各支所を 除く地域	3.31 4.1	月 火	〃	9.00~15.00	期日に更新でき なかつた人
各支所	3.26以降	〃	もよりの支所	9.00~15.00	〃

交通災害共済

家族そろって加入しよう

年額 350円

現在加入されている人は、三月三十一日で共済期間が満期になりますので、早めに市交通防犯対策室または各支所へ申し込みください。

特におとしりや幼児の交通事故が増加していますので、まだ加入されていない人もご家族そろって加入されるようおすすしめします。

▽加入できる人 五所川原市に住所をもっている人
▽共済会費・期間 年額三

百五十円(共済期間の途中で加入する場合も同額です)

共済期間は、毎年四月一日から始まり三月三十一日で終わります(途中で加入される人は、加入の日から三月三十一日までとなります)。

▽その他

小・中学校の児童生徒については、各学校を通じて受け付けています。保育所、職場、町内会、各種グ

○共済見舞金の額

災害の程度	等級	金額
死亡した場合	1	800,000円
実治療日数	入院180日以上を含む	2 150,000円
	入院90日以上180日未満を含む	3 130,000円
180日以上で	入院90日未満含む	4 110,000円
	入院又は入院なものを含む	5 80,000円
実治療日数90日以上	入院90日未満含む	6 60,000円
	入院又は入院なものを含む	7 45,000円
実治療日数60日以上90日未満	8	35,000円
実治療日数30日以上60日未満	9	25,000円
実治療日数10日以上30日未満	10	15,000円

ループなど二十人以上が加入される場合は、団体の取り扱いをします。

り扱いをします。

船員遺族のみなさんへ

(おしらせ)

職務上で死亡された商船の殉職船員遺児へ援護金が支給されます。

中学義務教育終了までの期間 一人一か月六千円。別に、小学校入学時に記念品として三万円。

ただし、生活困窮者に限

ります。

詳しいことや申請は、財団法人殉職船員顕彰会(☎三〇三三三四・〇六六二番 東京都千代田区麹町四・五 海事センタービル内)へどうぞ。

犬の放し飼いは、絶対やめて!!

取り締り強化月間中

五所川原保健所 五所川原市

最近、犬の放し飼いにによる咬傷事故や苦情相談が増えています。市民の方々が被害を受け、大変困っていますので、犬の放し飼いは絶対やめてください。

犬についての相談は、五所川原保健所(☎34二一〇八番)へどうぞ。

飼主のみなさんは責任をもって正しく飼いましう。

①犬の登録、狂犬病予防注射をしましょう。

②犬を捨てることは絶対やめましょう。

③放し飼いのない、安全で住みよい町づくりをしましょう。



みんなの健康教室へどうぞ

医師会と家庭を結ぶ「みんなの健康教室」が次の日程で開かれます。お気軽においでください。

- ▷日時 3月28日(金) 午後1時
- ▷場所 市保健センター
- ▷テーマ 「脳卒中について」
- ▷講師 対馬昭幸先生(対馬内科小児科医院長)
- ▷主催 北五医師会 五所川原市民保健協議会

乳幼児の健康診査

- ▷場所 市保健センター
- ▷受付時間 午後1時～1時30分
- ▷持参するもの 母子健康手帳、バスタオル。
- ※注意 6か月児の健康相談の際に、神経芽細胞腫(小児がん)の検査セットを配布します。なお病気療養中(特に伝染性の病気)のお子さんはご遠慮ください。

月 齢	対 象 児	期 日	内 容
3 か月 児	60年11月生	3月11日(火)	健康診査
6 カ月 児	60年8月生	3月18日(火)	健康相談
1 歳 児	60年2月生	3月24日(月)	健康相談
1歳6か月児	59年9月生	3月25日(火)	健康診査

▷お問い合わせは
市衛生課(☎352111 内線268・272番)へどうぞ。

愛の献血お願いします

月	日	午 前	午 後
3月	7日(金)	10:00～12:00 マルトモデパート駐車場	1:30～4:00 マルトモデパート駐車場
	17日(月)	10:00～12:00 平和町 対馬内科小児科 医院駐車場	1:30～4:00 東北電力株 五所川原営業所

川柳

周波数同じ音叉の息が合い
くつろげば一服の茶の安堵感
くつろぎの時を知らない蟻の足
千里眼自負する眼から子がこぼれ
激論を笑って聞いているだけのこと

川柳岩木吟社提供

かつみ 勝朗 順坊 野泣子 狂六



建築物を災害から守ること
それは、わたしたちの
生命を守ることに
三月七日から十三日は建築物防災週間です

新入学児の交通安全・お母さん方へ 具体的に教えてあげましょう

小学校入学を境にして、子供の活動範囲は大きく広がります。同時に、交通事故に遭う危険性も高くなります。お母さん方は、子供の特性を理解するとともに、お子さんの毎日の行動や性格を十分把握したうえで、具体的に、それぞれの現場にあった指導を行いましょ。

クイズの答えと解説

クイズに答えたお子さんに、答えを教えてやるとともに、次のようなことを説明しましょう。

クイズその1——答・わるい

歩道といっても、場所によっては、自転車も通ります。ふざけたり遊びながら歩いていると、注意力が散漫になり、自転車にぶつかってしまうかもしれません。また、ふざけているうちに車道に飛び出してしまうことも考えられます。歩道を歩くときは、必ず一列になって歩くよう教えてあげましょう。また、歩道(路側帯)と車道の違いについても具体的に教えてください。

クイズその2——答・わるい

道路を横断するときは、横断歩道や歩道橋、信号のあるところを渡るように教えましょう。車の間を通り抜けて横断するのは、止まっている車の陰になってしまうので、反対車線を走る車のドライバーから見えます。つまり、飛び出しと同じこととなります。このような渡り方は絶対しないように教えてください。

クイズその3——答・わるい

青信号の点滅は、信号がもうすぐ赤信号に変わるという合図です。あわてて渡ろうとすると、途中でごろんだり、赤信号になってしまうかもしれません。青信号の点滅になったときは、次の青信号になるまで待ってから渡るように教えましょう。また青信号になったからといって、すぐに飛び出さないでください。交差点は右や左に曲がる車があり、横断歩道を横切るかもしれません。必ず車が完全に止まったのを確かめ、運転手さんの目を見て渡るように教えましょう。

クイズその4——答・よい

自転車の交通事故で一番多いのが“飛び出し”によるものです。「一時停止」の標識のあるところではもちろん、細い道から広い道に出るときは、必ずいったん止まり、右左の安全を確かめることが習慣としてできるよう教えてあげましょう。

クイズその5——答・わるい

子供は、物陰で遊んだり、空箱の中に入って遊ぶのが大好きです。それ自体悪いことではないのですが、トラックや乗用車のうしろは危険このうえないのです。それは、車のうしろや運転席の反対側などに、ドライバーの死角があるからです。万一、ドライバーがうしろの安全を確かめないと運転をすると、大事故になります。ですから、道路や車の周りでは遊ばないように注意しましょう。

クイズその6——答・よい

子供は、よきにつけ悪しきにつけ大人のまねをします。大人が交通安全の手本となるよう心がけてください。